

重点目標 1 課題解決支援機能の強化

指標 2	年間図書受入冊数				
目的	県立図書館が多様な図書資料をどれだけ受け入れているかを測定します。				
定義	1 年間に受け入れた購入図書と寄贈図書の合計冊数の実数				
達成状況	平成 27 年度目標値		平成 27 年度実績値		
	15,500冊		17,018冊		
	購入 9,200冊		購入 9,071冊		
	寄贈 6,300冊		寄贈 7,947冊		
	図書受入冊数と市販出版点数の推移				
		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	年間購入冊数(a)	10,112	9,175	9,328	9,071
	年間寄贈収集冊数	10,625	9,971	9,723	7,947
	年間図書受入冊数	20,737	19,146	19,051	17,018
	年間市販出版点数(b)	80,541	81,110	79,541	80,048*1
	購入比率(a／b)	12.6%	11.3%	11.7%	11.3%
	購入図書平均単価	4,153 円	4,527 円	4,216 円	4,661 円
	*1 平成 24～26 年度は、学習参考書を除いた点数				
	平成 27 年度の目標値は、資料管理部門の熊谷図書館への移転による通常の収集・整理業務が行えない期間が想定されていたため、前年度実績 19,051 冊の約 80%となる 15,500 冊としました。				
実績値は 17,018 冊で、前年度実績に対しては約 11%の減少でしたが、目標値を約 10%上回って達成しました。					
これは、移転が当初の想定より短期間で完了し、資料収集・整理業務を長期間停滞させることなく実施できたことが大きな理由であると思われます。					
受入冊数のうち購入冊数は 9,071 冊でした。図書の内容を精選するなどして購入を進めたところ、目標とした 9,200 冊にほぼ相当する数の図書購入ができました。図書購入費は減額傾向ですが、購入図書の年間市販出版点数に対する比率*2は 11.3%となりました。					
なお、県立図書館は県民の調査研究を支援する図書館として、市町村立図書館では収集することが困難な専門図書を中心に購入していますが、平成 27 年の市販出版物の平均単価*3が 2,318 円であるのに対し、県立図書館の年間購入図書平均単価は 4,661 円でした。					
*2 年間市販出版点数に対する購入資料比率＝年間購入冊数÷年間市販出版点数×100					
*3 年間市販出版物の平均単価は「出版ニュース 平成 28 年 6 月下旬号」より					
寄贈資料については、市販されていない資料の収集が県立図書館に期待されていることから、地域・行政資料や団体出版物等資料を中心に刊行情報の把握に努め、寄贈依頼による収集を行ったほか、廃止となった県内試験研究機関等の所蔵資料から選別するなどして、					

重点目標 1 課題解決支援機能の強化

	7,947 冊を受け入れました。平成 27 年度の目標は 6,300 冊でしたが、資料収集・整理業務部門の移転が想定より短期間で完了したことなどにより、目標値を約 26% 上回ることができました。 今後は、図書購入費の減額傾向が続いていることなどを踏まえて、図書の内容を精選しつつ価格にも留意して購入するなど、一層効果的な予算の執行に努めます。寄贈図書については、引き続き県内関係機関からの受け入れを計画的に進めるほか、刊行情報の把握に努めて寄贈依頼による収集を積極的に行います。
--	--